

## 栗駒山の火山活動解説資料（平成 25 年 11 月）

仙台管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1）

大柳（山頂の南東約 20km）に設置してある遠望カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図 2～3）

火山性地震および火山性微動は観測されませんでした。

なお、栗駒山周辺では、「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」の余震域内で地震活動が続いています。

#### ・地殻変動の状況（図 5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 栗駒山 山頂周辺の状況（11 月 17 日 09 時 00 分頃）  
大柳（山頂の南東約 20km）に設置してある遠望カメラの映像です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 12 月分）は平成 26 年 1 月 14 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

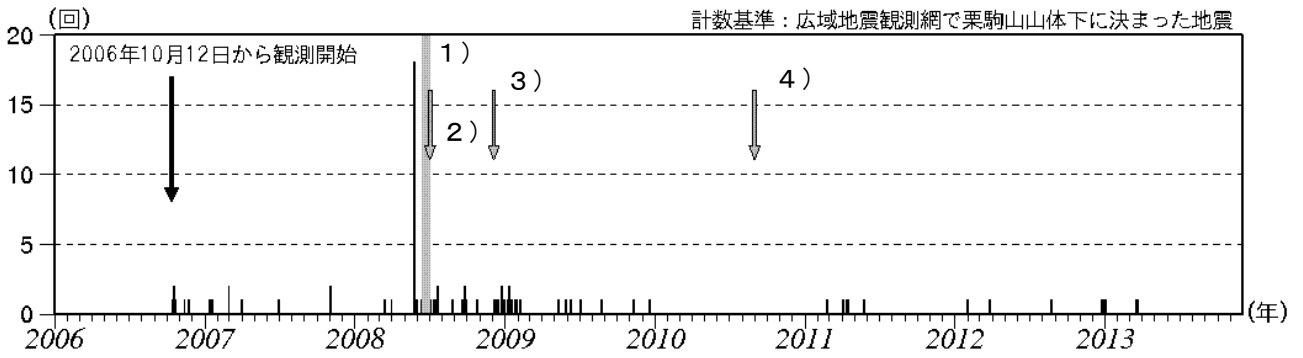


図2 栗駒山 日別地震回数 (2006年10月～2013年11月)

- ・ 2006年10月12日から旧耕英観測点 (山頂から南東約4km) で観測を開始しました。
- 1) 2008年6月14日から7月2日18時 (図の灰色部分) まで岩手・宮城内陸地震の影響により観測不能となっていました。
- 2) 2008年7月2日18時から小安 (おやす) 観測点 (山頂から北西約10km) で監視を開始しました。
- 3) 2008年12月4日から旧耕英観測点が観測を再開しました。
- 4) 2010年9月1日から耕英観測点 (山頂から南東約4km、旧耕英観測点とほぼ同じ場所) で観測を開始しました。

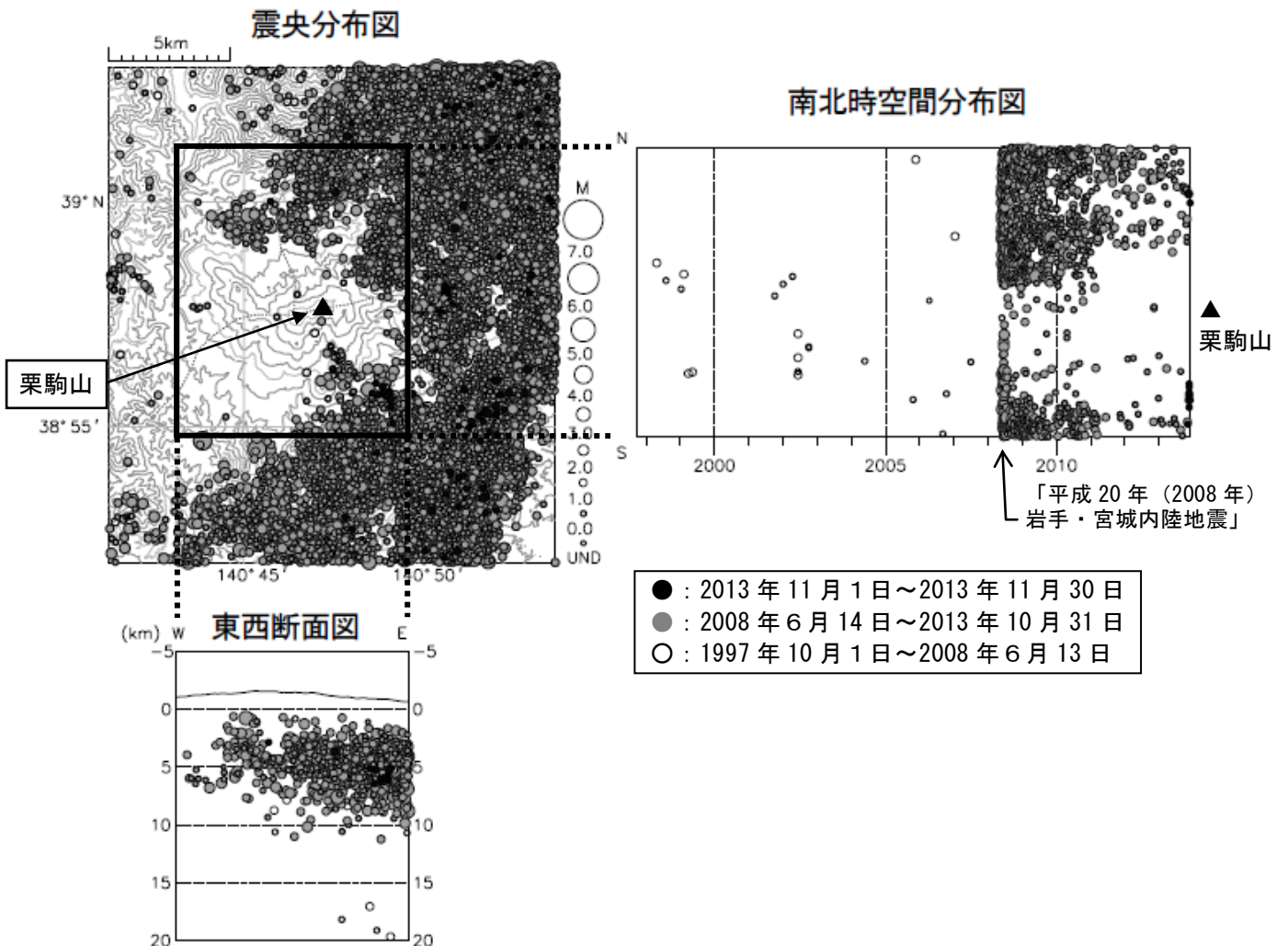


図3 栗駒山 広域地震観測網による栗駒山周辺の地震活動 (1997年10月～2013年11月)

- ・ 2001年10月以降、検知能力が向上しています。
- ・ M (マグニチュード) は地震の規模を示します。
- ・ 図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。
- ・ 「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」以降の活発な余震活動等により、規模の小さな地震については未処理のものがああります。

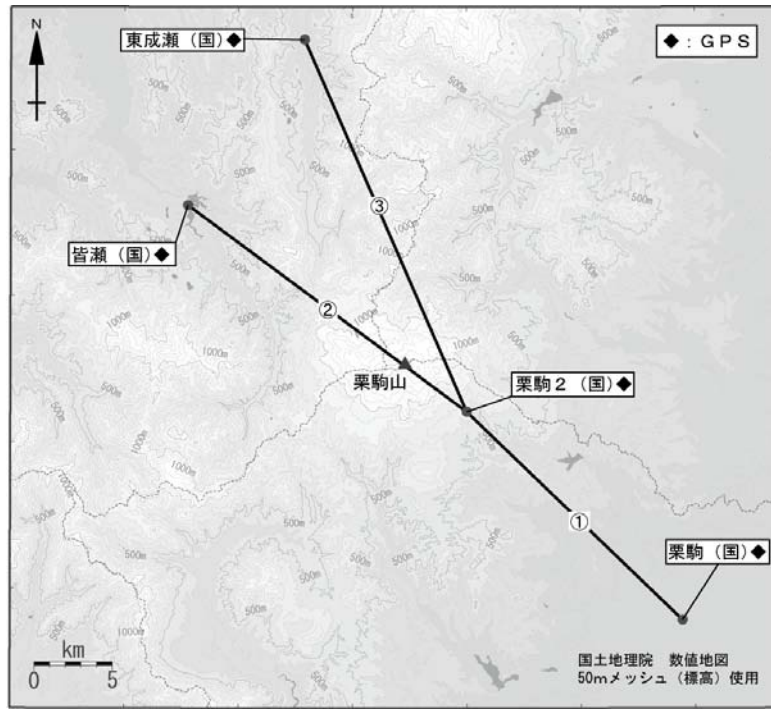


図 4 栗駒山 GPS 観測点配置図

小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国) : 国土地理院

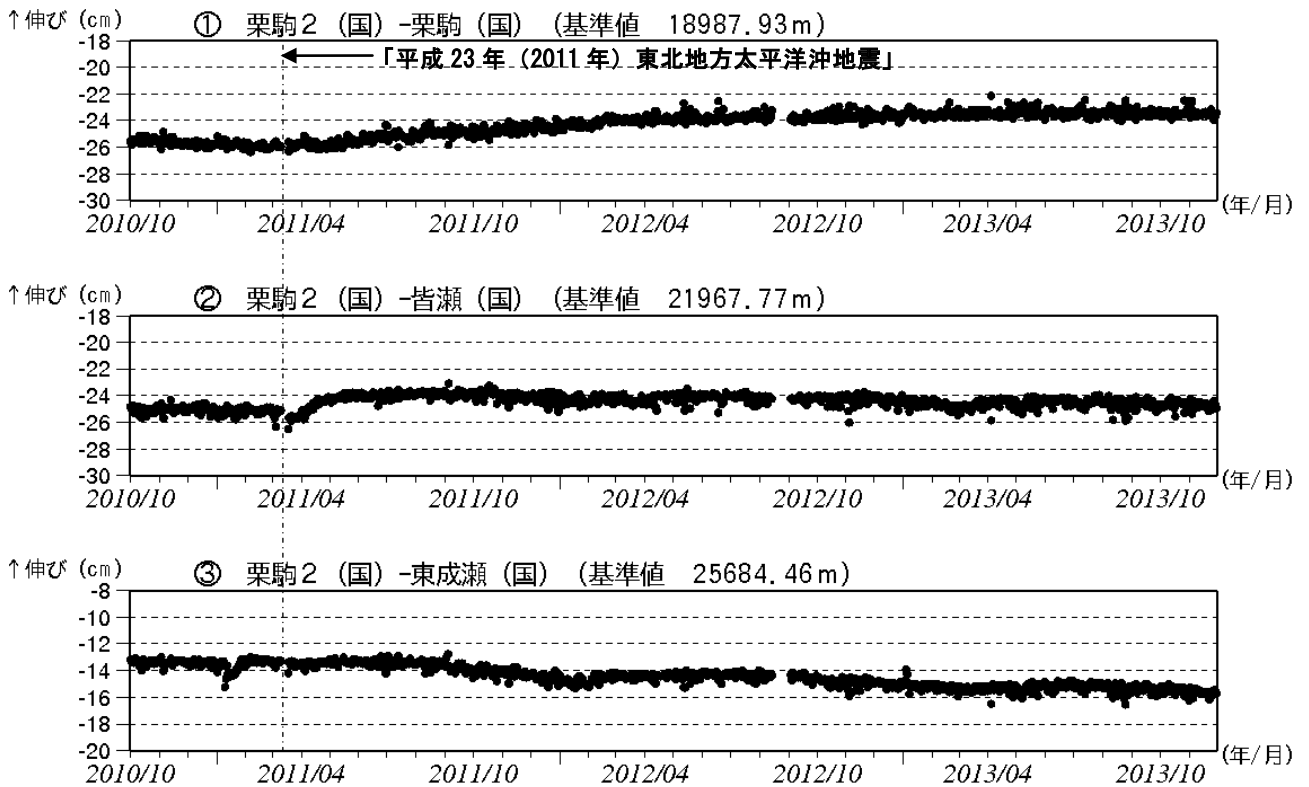


図 5 栗駒山 GPS 基線長変化図 (2010 年 10 月～2013 年 11 月)

- ・ 2011 年 3 月 11 日以降の変動は、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
  - ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
  - ・ ①～③は図 4 の GPS 基線①～③に対応しています。
  - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- (国) : 国土地理院

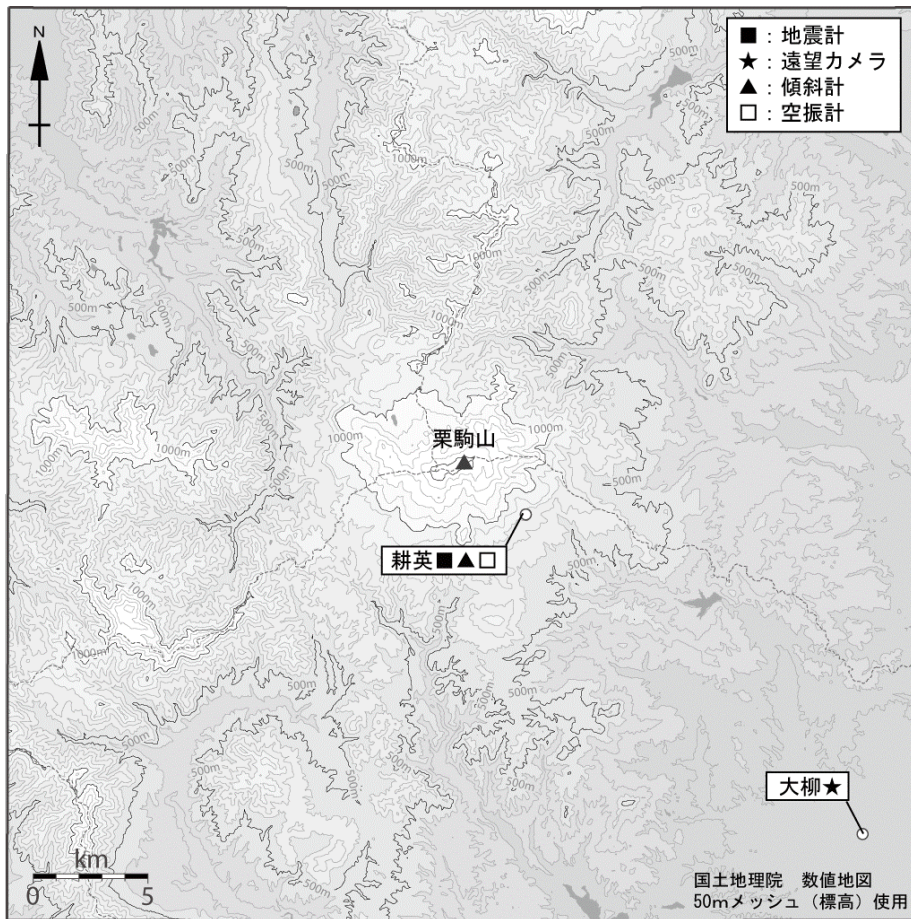


図6 栗駒山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁の観測点位置を示しています。